

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本競技会は2024年度WA規則を適用する(競歩種目を除く)。広告規程については国内規則で実施する。

## 2 練習について

練習は別表「練習会場・練習時間及び注意事項」に基づき実施することができる。注意事項を確認し、練習にあたっては競技役員の指示に従うこと。

## 3 招集について

(1) 招集所は本競技場メインスタンド下の器具庫および室内練習場に設ける。(100m スタート側)

(2) 招集開始時刻及び招集完了時刻は下表のとおりとする。

競 技	招集開始時刻(点呼開始時刻)	招集完了時刻(移動開始時刻)
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 15分前
フィールド競技(棒高跳以外)	競技開始 50分前	競技開始 40分前
棒高跳	競技開始 90分前	競技開始 80分前

(3) 招集の方法について

ア 競技者は招集完了時刻までに招集所で待機し最終点呼を受けること。その際、アスリートビブス・スパイク・衣類・商標等の点検を受けること。また、携帯電話等、競技規則 TR6. 3. 2 に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。

イ 代理人による点呼は認めない。2種目を同時に兼ねる競技者は、「2種目同時出場届」(招集所に準備)を競技者係に提出し、競技の進行に支障がないようにすること。

ウ 招集完了時刻に遅れた競技者(チーム)は、当該種目を棄権したものと処理する。

エ リレーに出場するチームは、所定のオーダー用紙(招集所に準備)を競技者係から受け取り、第1組の招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出すること。決勝においても同様とする。時間内に提出のないチームは棄権したものと処理する。

オ 棄権する競技者は招集完了時刻までに「欠場届」(招集所に準備)を提出すること。

○提出場所：8月16日(金)17:00まで⇒大会本部 8月17(土)、18日(日)⇒招集所

カ 本大会では参加の拒否(TR4.4)は適用しない。

## 4 アスリートビブスならびに腰ナンバー標識について

(1) アスリートビブス、腰ナンバー標識は主催者が準備する。

(2) アスリートビブスは所定の大きさのままで胸・背部両面につけること。ただし、跳躍競技は背部または胸部のみでもよい。

(3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を右腰につける。リレー種目については、4×100mRの第4走者、4×400mRの第2走者から第4走者は、腰ナンバー標識を右腰につける。

## 5 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

(1) 番組編成は参加資格記録をもとに行う。(同一県・同一チームは配慮しない。)

(2) 400m以下の距離の種目について、予選が5組以上の場合は上位記録8名で決勝を実施する。

(3) 400mH及び800m以上はタイムレース決勝とし、参加資格記録のランキング下位者から順に番組編成を行う。

(4) トラック競技におけるレーン順及びフィールド競技における試技順はプログラム記載順序による。次ラウンドについては記録掲示板にて発表する。

(5) タイムで次ラウンド進出者を決めるにあたり、最後の1枠に同成績がある場合は、0.001秒単位の時間で判定して決定する。それでも決定できない場合は抽選により進出者を決める。(競技規則 TR21.5)

## 6 競技について

(1) トラック競技

ア 計時はすべて写真判定装置を使用する。

イ スターターの合図は英語とする。〔「On your marks」、〔Set〕〕

ウ 短距離走では、安全のためフィニッシュラインを通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。

エ 衣類運搬は行わないので、フィニッシュ後は指示に従ってスタート地点に戻ることに。

## (2) フィールド競技

ア 競技場内での練習はすべて競技役員の手配に従うこと。

イ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の一人になるまで下表のとおりとする。ただし、当日の気象状況等によっては変更する可能性がある。

種目	性別	練習	1	2	3	4	5	6	以後
走高跳	男子	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cm
	女子	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	3cm
棒高跳	男子	任意	4m00	4m20	4m40	4m60	4m70	4m80	10cm
	女子	任意	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	10cm

ウ 走幅跳・三段跳において2ピットで決勝を行う場合は、4回目以降の試技もピットを変えずに行う。

エ 三段跳の踏切板は男子 13m、女子 9m の位置に設置する。(ただし、主催者の判断により変更する可能性がある)

## 7 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は原則として主催者が用意したものとする。
- (2) 棒高跳のポールについては、競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を行う。
- (3) 投てき用具については個人所有のものを持ち込みを認めるが、各種目競技開始時刻の 90 分前から 60 分前までに南器具庫入口付近（フィニッシュ側）で検査を受けること。なお、検査に合格した用具は主催者が預かり、参加競技者間で共有できるものとする。競技終了後に返却する。
- (4) 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを 2 個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを 1 つだけ使用することができる。

## 8 競技用靴について

- (1) スパイクの数は 11 本以内、長さは 9mm 以内（走高跳及びやり投は 12mm 以内）とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は 4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (2) WRk 対象競技会につき、WA 競技用靴規程を適用し、適用除外とはしない。
- (3) 靴底の最大の厚さは 800m 未満のトラック種目は 20mm 以内、800m 以上のトラック種目（5000mW を除く）は 25mm 以内。フィールド種目（三段跳を除く）は 20mm 以内。三段跳は 25mm 以内でなければならない。
- (4) フィールド競技用靴の前の部分の中心点の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
- (5) 審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
- (6) 競技用靴規程に違反して競技を行った場合は失格とする。

## 9 表彰について

- (1) 各種目 3 位までの入賞者（リレーは 1 チーム 4 名）を表彰する。（賞状及びメダルを授与）
- (2) 表彰は決勝結果アナウンス後ただちに実施する。3 位までの入賞者はメインスタンド下のエントランスホール表彰者控所にすみやかに集合すること。（都合により出席できない場合は必ず代理人を立てること。）
- (3) 最優秀成績者若干名に優秀選手賞を授与する。

## 10 更衣室について

- (1) 本競技場メインスタンド下の更衣室（100m のスタート付近とゴール付近に 1 箇所ずつ）が利用できる。補助競技場の更衣室は使用できない。
- (2) 更衣室は更衣にのみ使用し荷物は各自で管理する。

## 11 その他

- (1) 開門時刻は競技日程表に記載する。
- (2) 大会本部は本競技場役員室（正面玄関先の右側）に大会期間中設置する。
- (3) 競技場内での疾病、傷害等に対する応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) プログラム記載事項に訂正がある場合は、本人または代理人が各県代表に申し出て、訂正手続きを行うこと。
- (5) 競技結果等は、記録処理終了後、随時速報サイトに掲載する。
- (6) 記録証明書を希望する競技者は、1 通 500 円を添えて大会本部に申し出ること。
- (7) 本競技会の優勝者が、必ずしも日本選手権の出場権を得るものではない。